

トヨタ車体らがプレーオフ進出を決める

～第38回 日本ハンドボールリーグ・第14週～

第38回日本ハンドボールリーグ・第14週は、12月7、8日に埼玉などで男子4試合が行われ、首位のトヨタ車体が湧永製薬に逆転勝ちして大崎電気、大同特殊鋼とともにプレーオフ切符を獲得した。

埼玉での大崎-北電は、立ち上がり桜井らで3連続得点を奪った北電が9分6-2と好スタート。10分過ぎから大崎にもようやく勢いが出始め、ディフェンスからの速攻でリズムを作り、小澤らの4連打で同点に追いついた。その後は膠着した時間帯が続くも、16分に信太のミドルシュートで逆転した大崎が27分までに7点を連取、G K吉田の好セーブもあって一気に混戦を抜け出した。14-9と大崎リードで迎えた後半も大崎は攻撃的なディフェンスから相手のミス誘って着実に得点を加え、後半から入ったG K東が吉田に負けじと大活躍。北電も16分過ぎから赤塚らの3連取で意地を見せたが、終わってみれば30-17の大勝で大崎が危なげなく北電の挑戦を退けた。

愛知での車体-湧永は、湧永の3連続得点で幕を開けた。この後、石戸、藤田らを中心に挽回を図った車体に対し、湧永は樋口、成田らの得点で序盤のリードをキープして14-11と3点差で前半をターン。後半は車体・横地の得点でスタートするが、湧永は成田、坂本の連打などで引き離しにかかる。しかし、首位を走る車体も黙ってはいない。木切倉、渡部ら若手を中心に得点を積み上げ、19分には高木のシュートで同点とすると渡部が7mスローで続き、19-18と逆転に成功した。これで勢いづいた車体は、21分過ぎから湧永・坂本、成田の連続得点を許したが、木切倉、高智の3連打と必死のディフェンスで再び優位に立つと、残り1分を切って木切倉がダメ押しゴール。苦しい展開を耐え抜いた車体がプレーオフ切符を手中にした。

佐賀でのトヨタ紡織九州-豊田合成は、合成・芳仲が先制点を奪うが、すぐさま紡織・海道がシュートを決めて同点。その後は、4:2ディフェンスを仕掛けて相手バック陣の動きを封じ込めにかかる紡織に対し、合成も速い動きからのパスワークを駆使して得点に結びつけた。合成が出村、今村、加藤らで加点すれば、対する紡織も呉相民、西端、藤山らで応戦、一進一退の攻防が続き、15-15の同点で前半が終わった。後半に入っても点を取り合う展開は変わらない。それでも合成は7人攻撃を仕掛けるなどで徐々に点差を広げ22分27-23とリード。終盤、紡織も海道のシュートなどで激しく追ったが、1点差を守り抜いた合成が下位脱出へ貴重な勝利をものにした。

沖縄での琉球-大同は、前半10分まで両チームとも高めのディフェンスで1対1を守り、激しい攻防戦を展開。大同はシュートミスが多く、琉球が9分4-1と先行した。大同はタイムアウトを取って連携を確認するが、琉球のディフェンスに対して前を向いて攻めることができず、22分には7-12と5点差をつけられる。この後、琉球は村山の退場から大同に2点差まで詰められるが、残り2秒で大同から移籍した棚原が速攻からのロングシュートを決め、13-10と琉球リードで前半終了。後半出だし、琉球は名嘉(伸)の退場もあって15-14と1点差にされるが、速攻から棚原らの連打で16分20-14と水をあけた。しかし、20分を過ぎたあたりから琉球のディフェンスの足が止まり、徐々に点差を詰められていく。最後は残り1秒で大同の速攻を守ることができず、高景洙のカットインにより23-23の同点で引き分けとなった。

次週は12月22日、大阪で男子1試合が行われる。4位の湧永と5位の琉球がプレーオフ進出をめぐる火花を散らす。1点を争う大接戦となりそうだ。



④2位に浮上した大崎・森
⑥大同と引き分けた琉球・名嘉(真)

第15週の日程

12月22日(日)	大阪	豊中市立豊島体育館 (阪急電鉄服部駅徒歩10分)	14:00~	(男)	湧永製薬 × 琉球コラソン
-----------	----	--------------------------	--------	-----	---------------

◆ 12月7日(土) 男子
埼玉・富士見市立市民総合体育館

大崎電気 30 (14-9) 17 10勝0分2敗	北陸電力 0勝0分11敗
3/5 染谷 3/5 小澤 2/6 豊田 1/3 宮崎 2/5 東長濱 0/0 永島 3/3 小室 0/0 馬場 <0/1> K 東 6/6 森 3/4 岩永 1/1 植垣健 <0/2> K 吉田 1/2 時村 4/6 信太 1/2 植垣貴	神田 1/3 田越 3/11 切井 1/2 桜井 1/2 前田 0/0 杉山 2/3 小川 0/0 山原 0/2 瀬戸 2/6 宮下 1/1 川添 K 赤有 4/14 3/3 江 K 田 0/0
0/0 30/48	14(FPP)4 14/42 3/3

◆ 12月7日(土) 男子
愛知・ウィングアリーナ刈谷

トヨタ車体 23 (11-14) 20 10勝1分1敗	湧永製薬 7勝1分4敗
<0/1> K 木下 0/0 笠原 3/10 石原 2/5 高智 3/7 横地 0/0 藤本 0/0 藤田 1/3 高木 3/6 木切 2/2 富田 0/3 光増 0/0 鶴谷 0/0 香川 3/5 崎部 2/2 渡前 K 甲斐	志水 K <1/3> 水村 0/0 坂本 4/4 成田 5/11 野村 1/5 江口 0/0 藤佐 2/9 樋口 4/13 1/1 伊藤 K <2/3> 伊仁 0/0 井村 3/4 村 K <0/1> 今松 野 0/0
4/7 19/43	5(FPP)6 19/46 1/1

◆ 12月7日(土) 男子
佐賀・神埼中央公園体育館

豊田合成 27 (15-15) 26 3勝1分8敗	トヨタ紡織九州 4勝0分7敗
<0/2> K 藤戸 0/0 神原 1/1 原 2/2 3/7 野田 2/2 大橋 0/0 桶谷 1/5 中島 5/6 長江 1/2 加藤 <0/1> K 藤田 3/8 今村 3/4 中村 3/8 芳仲 1/1 0/0 岡山 0/0 岡盛 2/4 出村	松野 K <0/3> 野中 2/8 西端 2/3 上田 1/2 村上秀 3/6 村相民 3/11 佐久間 0/0 海道 5/6 栗崎 0/0 柳 0/2 野田 0/1 下野 K 鈴木 5/7 藤山 2/6 3/3 山盛 石黒 0/0
3/3 24/47	3(FPP)7 23/52 3/3

シュート阻止率

0.556 10/18 東川	7/26 0.269
0.400 4/10 吉田	6/17 0.353
0.500 14/28 (GK)	13/43 0.302
審判(富田・野平)	観客 675人

シュート阻止率

0.000 0/0 木下	14/33 0.424
0.486 18/37 甲斐	1/11 0.000
0.486 18/37 (GK)	15/34 0.441
審判(池淵・楢崎)	観客 1100人

シュート阻止率

0.488 21/43 藤戸	10/31 0.323
0.000 0/1 原	3/6 0.500
0.000 0/0 藤田	
0.477 21/44 (GK)	13/37 0.351
審判(川端・今泉)	観客 356人

◆ 12月8日(日) 男子
沖縄・東風平運動公園体育館

琉球 コラソン 23 (13-10) 23 4勝1分6敗	大同特殊鋼 9勝1分2敗
1/1 9/14 棚原 0/0 久高 3/7 村山 0/0 東長濱 0/0 水野矢 0/0 小橋川 0/0 積平 5/9 榎本 0/3 名嘉伸 0/3 松信 K 内田 3/6 名嘉真 1/3 内山 0/0 中村 1/1 連石 <0/2> K 石田	中村 K <0/1> 野村 2/4 2/2 地引 2/2 久保龍 0/0 武田 1/3 岸川 3/5 平子 1/5 久保侑 K 加藤 4/5 千々波 3/8 山城 0/0 東 K 杉山 0/0 下村 0/0 高景洙 5/10
1/1 22/46	7(FPP)1 21/42 2/2
0.400 14/35 内田	0/0 0.000
0.000 0/0 石田	15/30 0.500
0.400 14/35 (GK)	17/39 0.436
審判(永春・安田)	観客 1283人

男子個人ランキング 第14週終了現在

得点王

10 赤塚 孝治 (北陸電力) 58点/131射0.443

7mスロー得点

11 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本) 56点/127射0.441

フィールド得点

1 信太 弘樹 (大崎電気) 72点 (12試合)	11 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本) 56点 (11試合)
1 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本) 72点 (11試合)	10 藤本 純季 (トヨタ車体) 6点 (12試合)
1 赤塚 孝治 (北陸電力) 72点 (11試合)	
4 成田 幸平 (湧永製薬) 66点 (12試合)	
5 高 景洙 (大同特殊鋼) 60点 (12試合)	
6 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 58点 (11試合)	
7 豊田 賢治 (大崎電気) 57点 (12試合)	
8 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本) 56点 (11試合)	
9 樋口 陸 (湧永製薬) 53点 (12試合)	
10 今村 彰伸 (豊田合成) 52点 (12試合)	

シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、6位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人 (トヨタ車体) 173本/387射0.447
2 志水 孝行 (湧永製薬) 151本/378射0.399
3 木村 昌丈 (大崎電気) 78本/201射0.388
4 川添 将典 (北陸電力) 130本/380射0.342
5 久保 侑生 (大同特殊鋼) 70本/208射0.337
6 藤堂 聖二 (豊田合成) 119本/356射0.334
7 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本) 143本/446射0.321
8 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州) 75本/248射0.302
9 石田 孝一 (琉球コラソン) 71本/237射0.300

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン) 11本/19射0.579
2 木村 昌丈 (大崎電気) 5本/15射0.333
3 有江 啓 (北陸電力) 5本/17射0.294
4 志水 孝行 (湧永製薬) 4本/14射0.286
5 木下 国大 (トヨタ車体) 5本/22射0.227
6 藤戸 量介 (豊田合成) 5本/23射0.217
7 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本) 4本/23射0.174



得点王争いで1位に並んだ大崎・信太

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 豊田 賢治 (大崎電気) 57点/78射0.731
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 58点/86射0.674
3 信太 弘樹 (大崎電気) 72点/117射0.615
4 出村 直嗣 (豊田合成) 49点/81射0.605
5 高 景洙 (大同特殊鋼) 60点/104射0.577
6 成田 幸平 (湧永製薬) 66点/119射0.555
7 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本) 66点/122射0.541
8 芳仲 将行 (豊田合成) 49点/100射0.490
9 今村 彰伸 (豊田合成) 52点/114射0.456

※女子ランキングは第12号で既報

第 38 回 日本ハンドボールリーグ 成績表

第14週第2日終了 12月8日

順位	男子	トヨタ車体	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	豊田合成	トヨタ自動車東日本	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ車体	○	○	○	●	○	○	△	○	○	12	10	1	1	21	335	284	51
2	大崎電気	●	○	●	○	○	○	○	○	○	12	10	0	2	20	370	301	69
3	大同特殊鋼	●	○	○	○	○	△	○	○	○	12	9	1	2	19	330	274	56
4	湧永製薬	○	●	●	●	○	●	○	○	△	12	7	1	4	15	311	297	14
5	琉球コラソン	●	●	●	●	△	●	○	○	○	11	4	1	6	9	251	268	-17
6	トヨタ紡織九州	●	●	●	○	○	○	●	○	○	11	4	0	7	8	321	322	-1
7	豊田合成	△	●	●	●	●	○	○	●	○	12	3	1	8	7	307	341	-34
8	トヨタ自動車東日本	●	●	●	△	●	●	○	○	○	11	2	1	8	5	291	327	-36
9	北陸電力	●	●	●	●	●	●	●	●	○	11	0	0	11	0	224	326	-102

順位	女子	オムロン	広島メイプルレッズ	北國銀行	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	○	○	△	○	○	○	○	11	8	2	1	18	279	211	68
2	広島メイプルレッズ	●	○	●	○	○	○	○	10	8	0	2	16	277	218	59
3	北國銀行	△	○	○	○	○	○	○	10	7	1	2	15	278	205	73
4	ソニーセミコンダクタ	●	●	●	○	○	○	○	10	5	1	4	11	243	198	45
5	三重バイオレットアイリス	●	●	●	●	○	○	○	11	4	0	7	8	228	267	-39
6	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	●	●	●	●	●	○	○	10	2	0	8	4	180	265	-85
7	H C 名古屋	●	●	●	●	●	●	●	10	0	0	10	0	141	262	-121

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。